川口町公民館報
公民館報
第71号
発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山静堂印刷所

川口町の発展をめざして

新春を迎え町民の皆様へ

川口町長 関口 淳治

町民の皆さん明けましておめでとうございます。

みなさんの絶大なる御支援と御協力により、多事多端であった昭和三十九年を無事に送り、輝やかしい昭和四十年の新春を迎えることができましたことは、ひとしお感激の深いものがございます。

しずかに今すぎ去った年を振り返ってみますと集中豪雨並に新潟地震等の発生もございましたが幸いにして当町には特別の災害もなく、また心配された稲作も順調な秋を迎えることが出来ました。町行政に於いても再建整備五ヶ年計画に基き第一年次も無事に執行いたし沢山の事業もスムーズに進み得ましたことを心から喜んでおる次第でございます。

年あらたな本年でありますが継続的な事業を前年に引きつづき、更に具体的に進めてまいることは申すまでもございません。

五ヶ年計画の実行には限りある財政の中を町民全体の福祉増進のため万般に亘って本年もみなさんの御意見をよく拝聴いたし、緩急軽重をよく見極め、公正に一ッ一ッを解決して参りたいと思っております。

年頭に当り何卒みなさんの一層の御協力を心からお願い申上げご挨拶といたします。

年頭新想

川口町議会議長 青柳 弘

明けましておめでとうございます。

希望の新春を迎えるに当り皆さんと川口町の青写真を眺めてみましょう。

まず公共土木行政に目を向けよう。目につくのは南北に縦断している道路だ。近代感覚を取り入れた国道十七号線これに交叉する駅前道路（駅通りは中学校下手で十七号線と完通する）。交成会下手に出来る団地（国鉄複線旅士便用により四十戸建設）さながらよその町をみる感。目を魚野川に点ずれば、片岡（四千万）和南津（一千五百万）西川口（四千万）東川口（三千万）牛ヶ島（二千万）と各地に防災工事が進められ、災禍よいつでもこいと万全の態勢。目を郊外に点じてみよう。部落に自動車が見える、開びゃく以来自動車の入らなかった辺地に自動車が入る（木沢〜塩谷辺地事業県費五〇〇万）木沢線も田麦山線もそして山ノ相川線も大きな曲りをとり除き、自動車が自由に入れる（各々三〇〇万）。中小河川を見よう。相川川（五〇〇万）小貫川（五〇〇万）、頭辺川（一千万）防災工事が進められている。道路はすべて県道に、河川はすべて準用河川に、そして「工事はすべて国費、県費で」をモットウに今年も政治力を発揮したい。さて文教施策に焦点を合せよう。財政の如何にかかわらず緊急の問題は中央公民館建設であろう。完全給食については給食センターによる全校給食とするか、年次計画による各校給食にするかは課題として今年実施は時代の要求であろう。

町づくりの中核ともなる人づくり教育、それには何としても中央公民館の設置が最大の急務であるが、町費建設はとうていのぞむべきもない。そこで国民年金長期融資の手続きで建設設計等は可急的速やかに行なわなければならない。次に産業経済施策について眺めて見よう。農政で取り上げられるのはなん事しても農業構造改善であろう。農業構造改善によって一定の収入を得るわけであるから、「可能な投資」によって収入を倍増するには重点施策を講じなければならない。一般論ではなく、他地域の成功論にまどわされず、川口独自の、川口に適合した施策を講ずべきだ。

「可能な投資による倍増政策」、それは参団造成事業の導入、団地経営をおいて他にないかと思う。今年こそは本気で具体策を考究していきたい。その他商業を振興する問題もあるが紙面の都合で省略するが、これらの諸方面の施政のために各位の一層な協力を必要とするが何卒格別のご指導とご鞭撻をあわせお願いし、「年頭新想」としたい。

青少年の体位、体力の向上と公立幼稚園の設置について

川口町教育長 古田島 正

新潟国体について、オリンピック東京大会と「スポーツの年」とも言われた昭和三十九年も見事な成果を収めて幕を閉じました。

全国民がこの感激と興奮に全神経を注いで声援と協力を惜しまなかったことは、昭和二十年以来の出来事であったと思います。

この世紀の祭典が、吾々に教えてくれたものは何か、と言うことであります。まず科学技術と学問の粋を集めた施設、運営は絶賛を得たのでありますが、各種競技に必ずしも満足を得られなかったことは、日本人の体位の向上と青少年時代の体力の養成に今一段の機会と施設を与える必要のあることであります。

一、体位と体力の向上

家庭生活も改善され、文化生活に変り、食生活も栄養が考えられ、工夫されて体格も昔のそれとは比較にならぬ程の進歩を示しており、学校の机も新らしい規格に作らなければならないほどであります。しかしこれは全国平均のことであって、川口町の現状必ずしも全部が平均に達していると言うことではありません。一日も早く施設の充実を必要とするのであります。そのために、学校に於ける完全給食の実施、夏季の体育施設であるプールの建設、冬季間の屋外スポーツであるスキーの振興、また青少年の健全育成のための「スポーツ少年団」の結成等が考えられるのであります。

二、公立幼稚園の設置

最近の教育に「幼児教育」の重要性が話題となっていますが、「小学校入学を五才からにせよ」そして「小学校六年生は中学校に編入せよ」または「幼稚園を義務制にせよ」と制度改正の意見まで出ている程幼児教育が重要だと言うことであります。それだけ幼児の発育が進んだのではないかと思います。

その施設として公立幼稚園の設置を考えるのであります。幼稚園は教育基本法に基いて学校教育法に示された目的と目標を達成するために、幼児の教育を行う教育機関であります。

新潟県はこの点全国下位であり中越には公立が一つもないと言う現状であります。県も長期総合教育計画の中にこれが普及を推進しているのであります。

川口町には保育所もありますが、せめて入学前の五才児だけでも公立幼稚園に学んで小学校に送りたいと考えるのであります。

年頭に当り所感の一端を述べさせていただきました。

年頭の所感

川口町PTA連絡協議会長 金子 武

新しい人間の育成をめざして、学校、家庭、社会、を堅いきずなで結ぶ社会教育団体であるPTAが発足して十八年、激しく移り変る時代の中で教育の道も国内外の事情の変化にゆさぶられながらも、多くの関係各位の熱意によって大きく進歩を遂げてきたことをしみじみ感じる。今日の現代社会における我々に課せられた重要な使命が幾つかあるが、最近特に青少年の問題が取上げられてきたが、青少年が家庭と学校の外で生活する機会が非常に増えている。そこで青少年が心身ともに健康な発達をとげるためには、望ましい環境をもたなければならないが、身近なところに交通禍があり、よくない読物やマスコミ等いくたの不健康な刺激がかこんでおり、物質的にも精神的にも、不安と危険を取除くために一面では学校につながり、もちろん家庭教育はその場であり、また社会教育とも密接な関係のある我々は三つの教育がばらばらにならず統一的精神的な共同の基盤を同一層強固にする必要があると思う。

人間形成のための知識は学校教育によるとしても主体的の重みの大半は家庭での雰囲気や環境に起因することの考え方が主張されてきた。家庭こそあらゆる分野での教育の基盤として今こそ家庭教育の主体性を確立せねばならない。家庭教育学級の開設に当り当面、家庭の機能と役割、親の教育上の責任と態度、子どもの発達段階と性格形成、よい習慣の形成等、これらの研究と学習を活発に展開しなければならない。

PTA活動は不断の実践活動の中にあるといわれている。将来はもっと視野を高く広くもって自己研修、地域、社会ぐるみの活動に実践推進の中核者たらんと意志するところに今后我々に課せられた重大な使命があるといえよう。

謹賀新年

議長 青柳 弘
副議長 星野 武夫
◎委員長 ○副委員長
◎総務 佐藤 角一郎
○〃 大渕 洋治
〃 星野 武夫
〃 丸山 和夫
〃 大渕 竹太郎
〃 江畠 松吉
〃 上村 正雄
◎社会文教 山田 寅之助
○〃 鈴木 松次
〃 河上 徳太郎
〃 渡辺 信栄
〃 喜多村 一博
〃 桜井 一雄
〃 網 与市
◎産業土木 上村 忠作
○〃 星野 光威
〃 関 久作
〃 山崎 良治
〃 広井 松雄
〃 森山 平八
〃 平沢 助太郎
監査委員 目黒 寅吉
〃 佐藤 角一郎
教育委員
委員長 関 牛吉
副委員長 小宮山 賢吉
委員 大渕 清治
〃 鈴木 六郎
教育長 古田島 正

川口中 田麦山中 特別教室新増築事業完成

昭和三十九年度の文教施設の整備については川口中学校の技術科金工室一室、田麦山中学校は普通教室、技術科木工室各一室の新築を昨秋完成した。

両校の工事の概況は次の通り

◉川口中学校
金工室（木造平屋） 三〇坪
来賓便所 一坪
工事費（事務費を含む） 二百一万七百円
着工 昭和三十九年 七月二十五日
完成 昭和三十九年九月十日

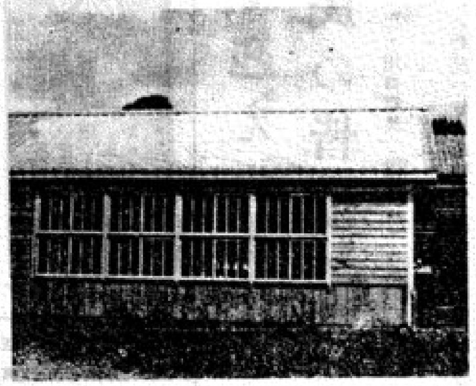
◉田麦山中学校
普通教室（木造） 二〇坪
技術科木工室 二〇坪
職員便所 一坪
工事費（事務費を含む） 二百四十五万八千八百円
着工 昭和三十九年 七月二十五日
完成 昭和三十九年 十月二十日

川口中学校の特別教室の新増築は義務教育最終段階の中学校課程における職業教育の重要性にかんがみ町内三中学校のセンターとしての役割を果すべく計画されたものである。

田麦山中学校については、昭和四十年度学級増となるために普通教室の不足の解消と技術関係の特別教室設置の必要からこの事業に着手したものである。なおこの新増築事業に要した経費について国庫補助及び起債、町費の関係についてふれてみよう。

◉川口中学校
国庫補助金 五十八万六千三百円
起債 六十万円
町費 八十二万四千四百円

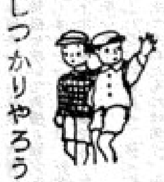
◉田麦山中学校
国庫補助金 七十八万一千七百円
起債 八十万円
町費 八十七万七千百円



川口中学校特別教室増築部分

田麦山中学校増築完成部分

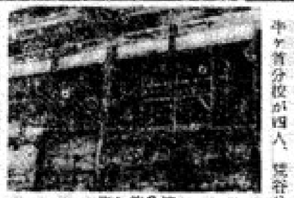
しっかりやろう 本校の友たちに負けないように



ことしも冬季分校二校が十二月一日からはじまった。牛ヶ首分校が四人、荒谷分校が六人と児童数は少ないが本校の友だちにまけないようにと元気に勉強している。

教材教具も不十分の中でせめて基礎教科だけでも精一杯やって学力を伸ばしたいと両校の先生は語っておられた。

荒谷分校

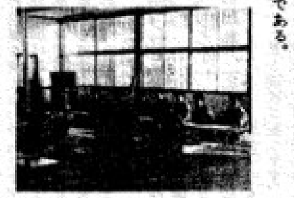


牛ヶ首分校

子供を正しく育てるために
――家庭教育学級開設――

家庭教育の重要性を理解すると共に、家庭における子供を正しく育てるために両親が知識、技術を身につけることをねらいとして教育委員会は文部省の方針にもとずいて一月十八日より家庭教育学級を開設することを決定し去る十二月二十二日学級生の打合会を開いた。学習の期間は一月十八日を第一回目とし内容は協議の結果、家庭学習をする子供たちに対する親の態度を中心に実際に経験したいくつかの問題を出しあい学習することと、なお学校教育の理解ということで学校の先生からのお話しと社会教育関係の先生のお話しや関連している映画を教材としてつかう予定になっている。なおこの学級は自主的に運営されるように学級内に生活、計画、記録、レクリエーションの四つの委員会を置き学級生が必ずいずれかの委員会に入り仕事に当っていくしくみになっている。

開設場所は役場を使用し、時には見学実習も行ない成果を上げようというもので、現在二十七名の学級生だが男子成人が申込みがなくこの学級を継続的に進めていくためには男子成人の参加が強く望まれるのである。二回目以降の学習のテーマ、内容、方法は前回の学習を反省し、決定することにし話し合い活動を重点的に採用しようというものである。



学級生氏名、部落を紹介しよう

中村美代(川口) 関ナミ(相川口) 山吉キヨ(川口) 小山ヒデ(川口) 渡辺チイ子(竹田) 佐藤トシ(川口) 関トク(川口) 目黒タケ(川口) 目黒ミツ(川口) 中林長(川口) 内藤フミ子(川口) 三輪ハル(川口) 横山イネ(川口) 吉越キミ(川口) 森山ツタ(川口) 前沢みどり(川口) 曽根幸江(川口) 吉田島キクノ(川口) 広瀬愛子(川口) 内山節子(川口) 阿部セト(川口) 小林光子(川口) 内山早苗(川口) 細川節子(川口) 小林キイ(和南津) 小林ハツ(和南津) 上村タマ(川口)

消費者の殿堂

くみあい生活センター設立

町の消費物価が安く、何んでもあるというムードを作り、住みよい町にするためにこのほど川口農協は「くみあい生活センター」を設立、去る十一月十四日開店した。階下の店舗で階上は青年、婦人等の集会場として提供し教養、文化面の研修の場となっている。

みんなの力で健康の町に

共同保健計画会議開催

去る十二月二十一日町住民課ならびに保健婦を中心として昭和三十七年、三十八年の二ヶ年にわたる調査資料をもとにして町内の関係機関の代表者が集って小出保健所の指導のもとに共同保健計画会議がひらかれた。その結果、(1)伝染病、(2)寄生虫駆除、(3)結核、(4)成人病、(5)母子の各問題について従来の実施方法から問題点を取り上げその究明と今後の対策について話し合われたが共通点としては各人のこれらの問題についての知識が比較的浅いため、折角の機会に参加しないという人が多いということであった。例えば伝染病の予防接種を受ける者が少ない、寄生虫駆除のための検便に積極的に参加しない、それでいて蛔虫、十二指腸虫の保有卵率は高い数値を示している。結核、成人病についても無関心の人が多く、早期発見ができず手おくれの状態になっている場合も少くない。自覚症状がないと医師の診察をうけないという人が多いが、適時健康診断をうけるよう当局は望んでいる。今後の具体的な進め方としては地区の婦人会をはじめあらゆる機関との連絡を密にし、町あげて健康の町づくりのために協力を願わなければならないということになった。このためには新たな組織づくりも考えていかねばならないだろうが、ともあれ当局の打ち出す計画、機会には万難を排して参加されるよう心構えをお願いしたいものである。

編集後記

▼新年おめでとうございます▼今年こそはという気持で一九六四年を迎え意気込みの半分も果たさないうちに一九六五年を迎えてしまいました。まさに光陰矢のごとしであります。▼一年をふりかえって社会教育は「沈滞のムードにおおわれていた」といってよさそうです。こうした沈滞ムードをのりこえることを今年いっぱいの編集方針のねらいとしていきたいと考えています。▼年末年始はゆっくり休養をとりスタミナをたくわいて下さい。

謹賀新年

町長 関口 淳治
助役 星野 [illegible]
収入役 石坂 久平
教育長 古田島 正

総務課 庶務 [illegible]
ガス水道 [illegible]
収入役室 [illegible]
税務課 [illegible]
産業課 [illegible]
土木課 [illegible]
住民課 [illegible]
保健婦 [illegible]
議会 [illegible]
教育 [illegible]
支所 [illegible]
診療所 [illegible]